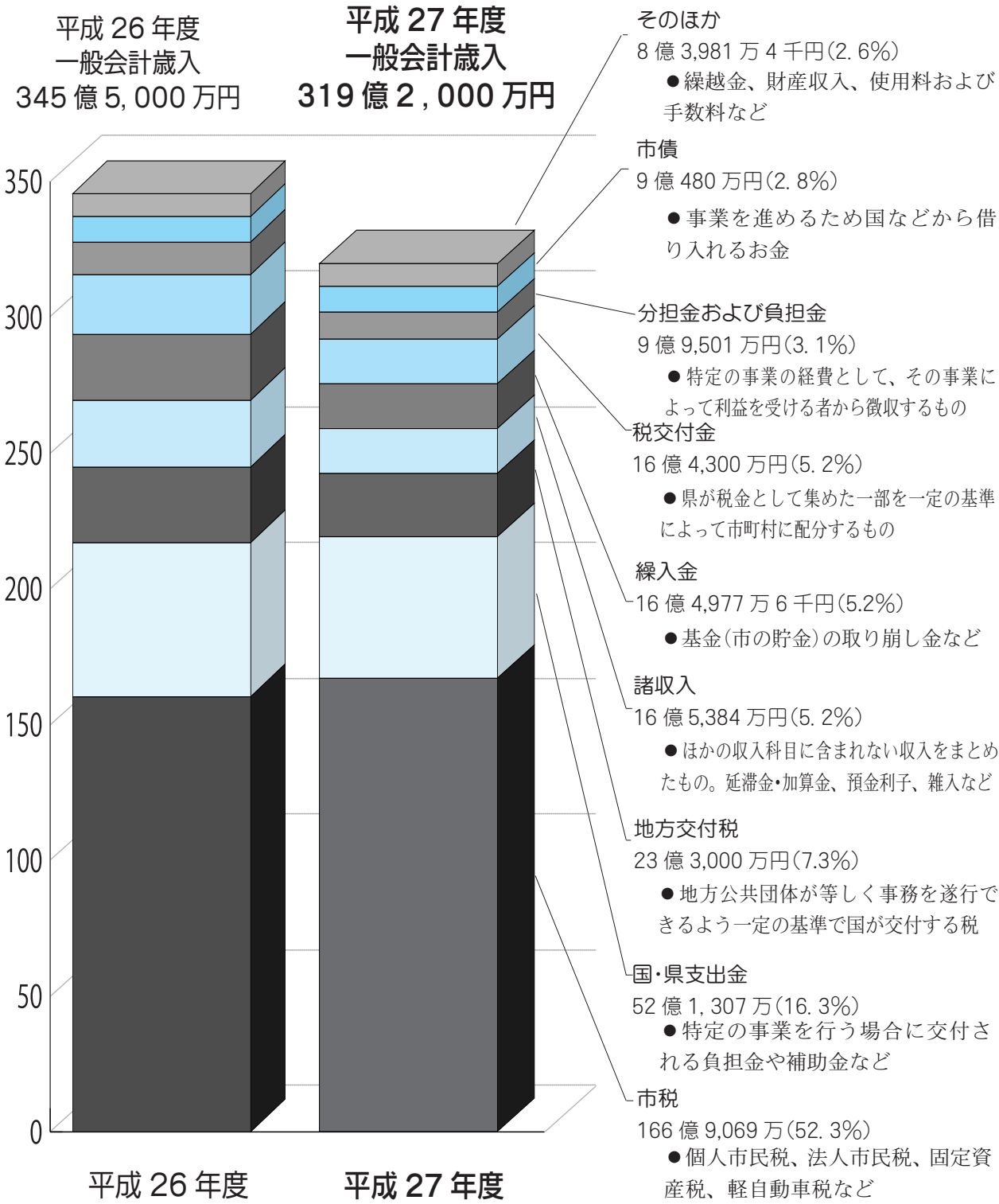


平成 27 年度当初予算

一般会計は 319 億 2,000 万円
予算総額は 492 億 5,751 万 9 千円



平成 27 年度当初予算が、第一回市議会定例会で可決されました。

一般会計は、平成 26 年度当初予算と比べ 7.6% 減の 319 億 2 千万円、これに特別会計と企業会計を加えた予算総額は 2.6% 減の 492 億 5 千 7 百 51 万 9 千円となりました。

平成 27 年度の歳入は、市民税、固定資産税などの市税や、地方消費税交付金が増収となる見込みですが、合併に伴う普通交付税の特例措置分が段階的に縮減されることや、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)の活用事業の減少による、国庫支出金の減などにより、前年度に比べ減額となりました。

一方、歳出は、高齢化の進展や社会保障関連経費などの増大に伴い、扶助費が増加しているものの、人件費、公債費といったほかの

義務的経費は減少しています。普通建設事業費は、小中学校施設整備改修事業や学校給食センター整備事業などの単独事業は増加となりますが、牧の原地区の道路・公園・小学校等施設整備事業や、小林駅舎等整備推進事業などの社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)を活用した補助事業の終了などにより、前年度に比べ大幅な減額(普通建設事業対前年比 3.5% 減)となりました。

なお、地方消費税の税率引上げによる増収分

◎将来債務残高の見込み◎

区分	平成 27 年度末(見込み)
地方債現在高	18,811,618
債務負担行為未払残高	9,745,106
計	28,556,724

(単位：千円)

は、全額社会保障施策に要する経費に使用します。

国財政課財政班(☎内線 4815483)。

◎性質別予算の概要◎

人件費	5,928,447
扶助費	5,249,439
公債費	2,487,992
物件費	5,330,738
維持補修費	182,839
補助費など	5,095,064
積立金	23,300
投資および出資金	58,005
貸付金	25,000
繰出金	2,168,063
普通建設事業費	5,266,113
災害復旧費	5,000
予備費	100,000
合計	31,920,000

単位：千円

収入は、給料とパート収入、親からの仕送りなどで合わせて 486 万円です。

それに対して支出は、食費、医療費、ローン返済のいわゆる義務的経費で 214 万円、

生活費や子どもへの仕送りなどで 202 万円、そのほか、家の増改築費など、合計で 500 万円です。足りない分は、ローン借入で何とかやりくりしています。

収入	
給料(市税)	261 万円
パート収入(使用料・手数料)	4 万円
親からの仕送り(地方交付税・国庫支出金など)	151 万円
預金取崩し・利息(繰入金・財産収入)	27 万円
雑収入(分担金、負担金・諸収入など)	43 万円
ローン借入(市債)	14 万円
合計	500 万円

支出	
食費(人件費)	93 万円
医療費(扶助費)	82 万円
ローン返済(公債費)	39 万円
生活費(物件費・維持補修費など)	88 万円
子どもへの仕送り(繰出金・補助費など)	114 万円
家の増改築費(普通建設事業費)	82 万円
預金(積立金・貸付金・投資、出資金)	2 万円
合計	500 万円

市の財政と家計ではその仕組みは違いますが、平成 27 年度一般会計予算を分かりやすく身近な金額とするために、

平成 27 年度一般会計当初予算の 319 億 2,000 万円を 500 万円の家計に例えてみました。

◆市の予算を家計におきかえると◆